

定例記者会見発言録

日 時：令和4年4月22日（金）11時～
場 所：伊達市役所東棟4階 401・402 会議室
出 席：市長、副市長、総務部長、未来政策部長、財務部長、
市民生活部長、健康福祉部長、産業部長、教育部長、危機管理担当参事、
健康対策担当参事
報道機関：毎日新聞社福島支局、福島民報社、福島民友新聞社
発表項目：市長から下記の内容について、別紙資料により説明
資料1 令和4年3月16日の地震に伴う被害状況および
被災者支援状況
資料2 市内の新型コロナウイルス感染状況および
感染拡大防止対策について
資料3 あなたが話題を作る！「だてフォト部」第2期生募集
資料4 伊達市LINE公式アカウントを開設
資料5 伊達市総合型地域スポーツクラブオープニングセレモニー
を開催
資料6 霊山新緑まつり2022の開催

《質疑応答》-----

令和4年3月16日の地震に伴う被害状況および被災者支援状況について

■被災者支援関連

記 者 今回住家で全壊が5棟あると思うのですが、昨年の地震の時は全壊の住宅はあったのでしょうか。
市 長 昨年はありませんでした。
記 者 一番被害が大きかったのは大規模半壊ということになるのか。
市 長 大規模半壊もなく中規模半壊でした。
記 者 被害の全体像が見えてきたと思うんですが、今被災された市民が一番必要としている支援はどのようなものだとお考えになりますか。
市 長 昨年も行いましたように一部損壊に対しての支援、それから公費解体もこれから実施していきますので、昨年度実施した支援策を早く示し、そして実施を早くしてほしいということだと思います。

市内の新型コロナウイルス感染状況および感染拡大防止対策について

■若年層のワクチン接種関連

記 者 若年層の3回目接種率を教えてください。

市 長 若年層とはどこまでですかね。

記 者 30 歳くらいまでとかわかれれば。

市 長 19～39 歳までが 28 パーセント、12～18 歳が 8.4 パーセント、それから 5～11 歳については、まだ 1 回目、2 回目ですので 3 回目まで行っていません。ちなみに 40～64 歳までが 60.9 パーセントです。12～18 歳については、3 月になってから国の方針が決まったということですので、まだ上がっていないというのがございます。それでまだ 8 パーセントという状況でございます。

記 者 伊達市だけではなく若年層の接種率が伸び悩んでいるが、伊達市ではどのように考えていらっしゃるでしょうか。3 回目の若年層の接種を推し進めるというかそういうお考えは。

市 長 今のオミクロン株は感染力が強いので、家庭の中で感染していくというのが大きな課題だと思っています。ですから若い人たちに積極的に接種を受けてもらうということが必要ですので、広報紙、広報車等で若い人たちへの接種をしっかりと進めていきたいと思っています。また、集団接種については 5 月 8 日で終わりますけども、かかり付けの個人医院で接種したいという方もおりますので、そういった需要にもしっかりと答えていくために医師会と協力をして個別接種も進めていきたいと思っています。